

学校教育目標

自ら考え、判断し、行動する子の育成

10年後の子どもたちの成長を見据えた桂川教育を目指して

目指す子ども像

- ㊦ 感謝する子、感謝される子
- ㊧ つよく、しなやかな心と体の子
- ㊨ らしさを認め、つながりを大切にする子
- ㊩ 学習に進んで取り組む子
- ㊪ わかるように自分の言葉で伝え合う子

目指す教職員像 『全ての教職員が働きやすい職場を作り、働き方改革を進める』

- ・想像力と創造力を持つ教職員
- ・子どもの見本となる教職員
- ・常に子どもの気持ちに寄り添える教職員
- ・ONE TEAMを目指す教職員
- ・気持の良い環境づくりを目指す教職員
- ・当事者意識を持つ教職員

本年度の桂川小学校の目指す学校像

学びに向かう子どもの姿が、笑顔で溢れる学校を目指して

主体的・対話的で深い学びの実現

- ・試行錯誤を繰り返しながら、問題解決を目指す子ども
- ・プログラミング的な思考（論理的な思考）の醸成
- ・日々の授業と家庭学習を連動した、自学自習の習慣化

生徒指導の三機能を意識した学校作りの実現

- ・誰一人取り残さない学校づくり
- ・確かな学力を身につけた自己決定のある授業
- ・豊かな感覚で自他の存在を大切にする心の育成
- ・共感的な人間関係を作り支え合う仲間づくり

ONE TEAMを目指した学校づくり

- ・大人が見本となる学校づくり
- ・すべての教職員が働きやすい職場づくり
- ・当事者意識をもった真の学校教育改革
- ・気持ちの良い学校の環境づくり

- ・「難しいけど、面白くて、楽しい」学習を創造する
- ・論理的な思考が身につくことで、論理の可視化につながる
- ・自分の考えを筋道立てて説明し、客観的に捉える力を育む

- ・常に子どもの気持ちに寄り添える教職員を目指す
- ・落ち着いた学校生活が、安定した学びに向かう姿を生む
- ・子どもを複数の目で見育てることで、よさや可能性を伸ばす
- ・多様な児童に対する見立てとアセスメントを充実させる

- ・見本となる大人がやり続けることで、子どもへの取組が浸透する
- ・桂川スタンダードを基本に、共通理解を超えた共通実践を目指す
- ・大胆に改革して、頑固に守り、真の学校教育の改革につなげる
- ・教職員が協働することで、エネルギーに見合う効果・成果を生む

京都市の学校教育の重点  
京都市の目指す子ども像  
「伝統と文化を継ぎ、  
次代と自らの未来を創造する子ども」